

## 令和5年度 学校経営計画

柏市立中原小学校

〈はじめに〉

本校の教育は、憲法、教育基本法、各教育法規、及び国・県・市の重点施策を踏まえ、児童の実態や家庭・地域社会の状況等を鑑みながら、学校教育目標を達成することを目指し、全教育活動を通して目指す子ども像に迫る教育活動を進める。

創立49年目を迎え、次年度は創立50周年となる。長い歴史と伝統を継承し、なお一層の充実と発展のために、全教職員が協力し、地域から信頼されるよう切磋琢磨し、教育実践を積み上げていきたい。

### 【学校教育目標】

新しい時代を担う、知性と徳性を備えた、人間性豊かで自立する子どもの育成

#### 【めざす学校像】

明るく礼儀のある学校  
安心安全で美しい学校  
信頼される学校

#### 【めざす児童像】

思いやりのある子（徳）  
がんばり通す子（体）  
進んで学ぶ子（知）

#### 【めざす教師像】

子どもの良さを伸ばす教師  
学び続ける教師  
協働する教師

## 1 経営の重点

地域と連携・協力した教育活動の推進  
～豊かな学びのための体験活動を生かして～

(1) 学校教育目標の実現に向けて

### 知性＝見出した問題の解決に向けて問い続け、対処する力

(2) 中長期目標

思考力・判断力・表現力の向上を目指した教育活動の展開

(3) 重点の考え方

予測困難な時代を生き抜くためには、

- ・物事の中から問題を見出す力
- ・未知の状況の中でも、具体的に自分が何をすべきかを考え、整理する力
- ・既得の知識や技能を活用する力
- ・新しい知識や技能をどのように得られるかを考える力
- ・他者と協働して課題を解決していく力

等の、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」を育成することが重要であり、すなわちそれが、知性（見出した問題の解決に向けて問い続け、対処する

力)へとつながる。

知性を備えるためには、様々な経験や体験が礎となるが、コロナ禍によって活動が制限され、地域との交流も希薄化している。そこで、制限が緩和された今年度は、地域と連携・協力した体験活動を推進し、前年度の重点「子どもたちが思考し、表現できる場を工夫した授業作りの推進～楽しくわかりやすい授業づくりをとして～」を踏まえた上で、活動の場を広げ、児童のさらなる豊かな学びを築いていきたい。

## 2 教育目標達成への重点と努力事項

### (1) 思いやりのある子

- ① 読書を通して豊かな心情、感性を育てる
  - ・学校図書館指導員や読み聞かせボランティアと連携した読書活動の充実
  - ・図書委員会活動の活性化
- ② 道徳教育、人権教育を推進し、思いやりの心を育てる
  - ・心に響く道徳授業の実施と道徳的実践力育成する道徳教育の充実
  - ・児童が安全で安心して学ぶための環境の充実
- ③ 教育活動全体を通して、子ども理解と人間関係を重視した心の教育の推進
  - ・個に応じた支援の充実（教育的ニーズに応じた環境整備）
  - ・SC や SSW と連携した教育相談の充実
- ④ いじめを見逃さない、許さない学校・学級づくり
  - ・いじめ防止に向け、柏市いじめ防止基本方針を踏まえた校内方針の周知徹底
  - ・いじめの早期発見・早期対応に向けた組織的対応の充実

### (2) がんばり通す子

- ① 目標を達成するために、強い意志をもって最後までやり遂げる態度を育てる
  - ・児童会活動の活性化
  - ・学校運営協議会との連携による、地域の力を生かした体験活動の充実
- ② バランスのとれた栄養を意識し、望ましい食生活を実現しようとする態度を育てる
  - ・食育の推進
  - ・自身が食事を調理する
- ③ 自分の健康を意識する態度を育てる
  - ・体力の向上に積極的に取り組む授業・行事等の工夫
  - ・健康教育の充実
- ④ 命の尊さや安全について自覚や実践力を高める
  - ・道徳科や学級活動への位置づけ

### (3) 進んで学ぶ子（教育課程の編成及び指導方法の工夫改善）

- ① 各教科等において思考力・判断力・表現力を育てる課題解決学習の実施

・課題解決の過程に留意

- 物事の中から問題を見出し、その問題を定義し解決の方向性を決定し、解決方法を探して計画を立て、結果を予測しながら実行し、振り返って次の問題発見・解決につなげていく過程
- 精査した情報を基に自分の考えを形成し、文章や発話によって表現したり、目的や場面、状況等に応じて互いの考えを適切に伝え合い、多様な考えを理解したり、集団としての考えを形成したりしていく過程
- 思いや考えを基に構想し、意味や価値を創造していく過程

(学習指導要領より)

- ・授業内において、児童が思考・判断・表現できる場面の設定
- ・豊かな体験活動の場の設定
- ・共同研修・研究による授業力の向上
- ・国語科の研究成果を生かした伝え合う活動の推進
- ・ICT機器を効率的、効果的に活用（デジタル教科書、思考共有アプリ等）
- ② 基礎的、基本的な学習内容の確実な習得と保持
  - ・習得したことを他の学習に活用することを意識した指導
  - ・知識、技能の確実な習得（ドリル学習等の副教材の効果的な活用）
  - ・個別学習や少人数指導の充実
- ③ 家庭学習の充実（学習習慣の確立）
  - ・児童の発達段階や理解度に応じた家庭学習を実施
  - ・興味関心や必要性を感じる事柄等について自主学習の推進
- ④ 特別活動の充実
  - ・自分たちの生活をよりよくしていこうとする自治力の基礎の育成
  - ・学校や地域をよりよくしようと自治的に考え、活動できる児童会活動の推進
  - ・集団の中で自分の役割を自覚して責任を果たせる学校行事の充実
- ⑤ カリキュラム・マネジメントの視点による年間計画の見直し
  - ・地域の教育資源を活用した学習内容の位置付け（生活科や総合的な学習の時間、社会等）
  - ・対話を通して様々な価値に気づけるよう多様な人との交流の場を設定

#### **(4) 地域と連携・協力し、学び続ける教職員**

- ① 教育公務員としての服務義務を誠実に遵守し、児童・保護者・地域の信頼に応える
  - ・「全体の奉仕者」として、全力を挙げて職務の遂行を図る
  - ・不祥事防止について知識を得、認識を深めるための不祥事防止研修を実施
- ② 研修活動の充実により、研修・修養に努める
  - ・共同研修を活用した授業力の向上
  - ・現職教育研修の推進
  - ・校外研修に可能な限り参加し、学んだことを教職員に周知

- ・若年層教員を育成するための研修を年間計画に基づいて実施
- ③ 安心安全な学校の確立
- ・清潔で安全な環境整備に向けた確実な定期安全点検及び日常点検の実施
  - ・危機管理体制の確立と子どもの安全確保に努め，地域や保護者との連携強化
  - ・交通安全に関するボランティアと連携した安全教育と登下校時の指導の充実
  - ・児童及び保護者の話を最後までしっかりと聞き取り，適切に判断して対応
    - ※共感的理解のもと，主訴を見極め，管理職と相談の上対応すること。
- ④ 地域に開かれた学校の実現
- ・学校だより，学年だより，ホームページ等の広報活動の充実
  - ・授業参観や保護者会（懇談会），学校行事等への保護者参観の機会を適切に設定
  - ・学校運営協議会や地域の教育資源を活用した活動の実施
  - ・教育ミニ集会等を実施し，地域と学校（児童）の交流の場を設定
  - ・災害発生時の避難所としての学校と地域自治体，行政との連携強化
- ⑤ 学校運営協議会を中核とした地域教育力の教育課程への導入
- ・学校経営方針の承認後，学校運営協議会委員と共に企画や運営を考え，地域の人材や資源等を十分に活かした児童の豊かな体験活動を実施
  - ・地域の願いを児童に伝え，学校や児童ができることを考えて地域に還元